



2020・11・1

第 390 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「九条の会」があることは日本の誇り

各界から一言メッセージ①

九条の会事務局はこのほど、安倍退陣にあたっての声明を送付し、各界にカンパと一言メッセージを要請しました。その一言メッセージを紹介します。

○青野 清 (日本キリスト教団牧師)

基地はその結果、戦争にいたります。しかし基地の本質は人権蹂躪にまで及ぶ横領強奪です。九条を守る闘いは主権回復への道です。憲法を守りぬきましょう。

○宝田 明 (俳優)

九条の会の皆様の崇高なお気持ちと勇気ある行動に、敬意を表します。過去の苦難に満ちた戦争を繰り返す事は、断固許してはなりません。

○池内 了 (名古屋大学名誉教授)

菅政権は、安倍政権に増して危険です。心緩めることなく、改憲の策動を打破するために粘り強く闘い続けましょう。

○相澤 久俊 (ポポロAC会長)

安倍政治の“継承”にとどまらず、更なる“悪化路線”を許さない闘いを！

初の施政方針演説で改憲に言及

10月26日、菅内閣が初めての施政方針演説をおこないました。学会会議会員任命拒否には一言も触れず、反憲法の姿勢を鮮明にしました。

× × × × × ×

国の礎である憲法について、そのあるべき姿を最終的に決めるのは、主権者である国民の皆様です。憲法審査会において、各政党がそれぞれの考え方を示した上で、与野党の枠を超えて建設的な議論を行い、国民的な議論につなげていくことを期待いたします。……

私が目指す社会像は、「自助・共助・公助」そして「絆」です。自分でできることは、まず、自分でやってみる。そして、家族、地域で互いに助け合う。その上で、政府がセーフティーネット（安全網）でお守りする。そうした国民から期待される政治を目指します。……

○岡部 正孝 (宗教関係者)

安倍内閣をひきつぐと言った菅内閣も極めて反動的・強権的政権なことが明らかに

なります。「九条の会」の活動が期待されています。

○齊藤 昭俊（大正大学名誉教授）

九条を守りましょう。戦争は絶対いけません。

○高尾 法水（浄善寺）

九条こそ「殺すなかれ、殺さしめるなかれ」と戒められた釈迦の教えの根本である。

○藤井 慶輝（日本宗平協会）

憲法の上に日米安保条約を置く、それに忠実ならんとする勢力。第2次大戦等より教訓と懺悔を引き出し九条に忠実ならんとするわれら。これが日本の、世界の平和の正道、大道理。明々白々。

○池辺 晋一郎（作曲家）

私たちには、日本の憲法なかんずくその9条が世界の宝であることを自覚し、世界に発信する責務があると思います。それを力強く継続させなければなりません。

○鈴木 瑞穂（俳優）

安倍、菅と両政権とも、戦前そっくりの発想で政治を行おうとしているようで、鳥肌が立ちます。

○堀尾 輝久（東京大学名誉教授）

9条地球憲章の会が「地球平和憲章（日本発モデル案）」を発表しました。どうぞお力添え下さい

○木村 宗嗣（禅龍寺）

人類史も視野に入る「憲法9条」を擁護し、「一人の百歩より百人の一步」を念頭に協力共同して平和運動を進めましょう。

○畑田 重夫（国際政治学者）

初心に立ち返り、ねばり強くたたかいつづけたいと、決意を新たにしています。

○岩見 照代

ますます露骨な思想統制を強めようとしている菅政権。その反動化を、九条を守りぬきストップさせよう。

○石川 文洋（報道写真家）

日本に「九条の会」があることを誇りに思っています。

○山内 敏弘（一橋大学名誉教授）

自民党政権の改憲・壊憲策動を共に阻止すべくがんばりましょう。

○田邊 堯正（宗教関係者）

「敵基地攻撃」など、もつての他です。9条を憲法にかかげている日本国政府は、国家間の緊張を少しでも緩和させるために努力すべきです。

○伊藤 定良（青山学院大学名誉教授）

異論を許さず、学術をも支配しようとする菅政権に空恐ろしさを感じます。民主主義を守るためには、九条の会はいっそう重要になっています。

○早川 篤雄（宗教関係者）

いかなる武器・核兵器をどれだけ並べようが、平和を護る9条には勝てない。9条を未来の人々に手渡すこと、我が人生のつとめと考えています。

○大高 全洋（山形大学名誉教授）

日夜ご苦労さまです。当地の学区九条の会で微力を尽くしています。

9条改憲に終止符をうち、「九条の会」が発展的に解消する秋（とき）を希求しています。

○澤田 章子（文芸評論家）

首相が変わって、ますます反動むきだしになっていますが、世論の動きが気になるところです。あまり動けず残念です。

学術会議会員任命拒否は不条理

【長野県茅野市／茅野市9条の会】

茅野市で25日、菅首相の日本学術会議会員候補のうち6人の任命拒否に抗議する集会が行われました。主催は茅野市9条の会。

開会あいさつで9条の会事務局の伊藤正陽さんは、学術会議法をしめし「学問の自由のため、学術会議は行政から独立、政府の委員任命は形式的なもの」「異論の排除は科学の進歩を阻害するもの」として菅政権を厳しく批判しました。

6人がリレートークし、最初の男性が「昨夜、核兵器禁止条約の発効要件である批准国50カ国に達した。核兵器でも学術会議会員の問題でも、国民の声に耳を傾けない政府を追い詰めよう」と発言すると大きな拍手に包まれました。女性は論点のすり替えと言い訳に終始している菅政権を批判。高齢の女性は「最初に低命拒否を聞いた時、戦前の治安維持法による弾圧の歴史を思い出した」と発言。別の男性は「学者がいなければ人類の進歩はなかった。これは知性に対する弾圧だ」。最後に発言した男性は「野党共闘で政治を変えよう」と結びました。

集会には大きなむしろ旗をもって参加した人もいて、40人が参加。近隣自治体の平和団体からメッセージがよせられました。

学術会議会員拒否に抗議の声明

【埼玉県所沢市／マスコミ・文化 九条の会 所沢】 マスコミ・文化 九条の会 所沢は10月26日、「日本学術会議会員候補6人の任命拒否の撤回を求める」との文書を菅内閣に送付しました。

文書は、菅内閣の行為はその任命行為は形式的なものにすぎないとする日本学術会議法を無視し、学問の自由を保障した憲法に反するものであること指摘し、戦前の反省にたつて政府から独立して職務をおこなうとされている学術会議の性格を無視するものであるとし、任命拒否の理由の説明を求めるとともに、その措置の撤回を要求するとしています。

地域訪問活動は間もなく100回

【群馬県前橋市／かがや9条の会】

「月に1日1時間、憲法9条を守る時間に」—私たちのスローガンです。

2008年5月9日より始めた9条署名（憲法改悪に反対し、9条を守り平和のために活かすことをとめます）は、7月19日で96回目を迎えました。桂萱（かがや）地区全域をまわる予定で、残りは4町です。

安倍首相は「9条に第3項をもうけ自衛隊を書き込む」と5月3日「壊憲」発言をしました。9条1・2項を残しても「自衛隊」の活動をしばってきた歯止めがなくなるキケンな「壊憲」策動です。

前向きになれた街頭での反応

【埼玉県三芳町／三芳九条の会】

三芳九条の会は10月19日、夕方17時半から18時半まで、「寒い雨」のなか、改憲発議反対等の署名にとりくみました。同事務局長の白田真希さんは、フェイスブックに、次のように感想を寄せています。

○誰も来ないかも、高齢者が多いし…と思ったが、雨の中歩いて3人の方が来てくださった。その強い思いに本当に感謝だ。

こういう諦めない市民がいる限り、このたかいは絶対負けない！

いつもどおり私がマイクを握り、皆さんに改憲発議反対署名とリーフの配布をお願いしました。

今日は先日買ったばかりの、憲法会議と平和委員会が合同発行したリーフ「敵基地攻撃能力っていったい何？」を配りました。これがふだんより受け取りがよさげで、駅の階段下の真正面に立っていたTNさんは途中2度もリーフの追加を取りに来ました。そして新しいリーフが呼び水になったのか、署名もTNさん1人で5筆、合計でも7筆。

この間、人との接近を嫌がる人が多いのか署名はもちろんリーフの受け取りも非常に悪かったのだが、久々に「やった感」。そしてTNさんに署名してしばらく喋っていた男性がいたのだが、その方は三芳町民で「三芳九条の会で催しものがあるときは参加したいから声をかけてくれ」と言ってくださったそうで、オルグもできた！と嬉しい限り。ほかにTNさんは茶髪の若いカップルからも署名をもらっていました。

長く続けていれば、いいときも悪いときもある。ちょっとした「いいこと」に感謝して、また頑張ろうと前向きになれる。雨の中来てくださったメンバーもそうだと思う。

畑に立てた九条大看板が好評

【奈良県河合町／九条の会河合】

「変えたらあかん！ 平和憲法世界の宝」の大看板が畑の中に立っています。すっきりした青色です。畑に沿った道は細い道ですが、西大和ニュータウンの通勤・通学者

が朝晩通る近鉄大輪田駅への近道道路になっています。

通行者にインタビューしてみると「端的な主張が鮮やかな大きな字なので良く判る」とか「歩いている目の高さなので身近に感じる」などと好評です。

20日の交流会は河合町まほろばホール研修室ですからお帰りのついでにご一見ください。

なお、この畑の持ち主は「河合九条の会だより」の愛読者で、全面的にご支援をいただきました。（「九条の会奈良県ネットワーク」高桑）

9条を守り育てたいの思いから

【和歌山県みなべ町／みなべ「九条の会」】 みなべ「九条の会」は10月11日、町内のスーパーマーケット前で、会員19名により通算117回目のピースアピールを実施しました。

みなべ『九条の会』は、『永久に戦争はしない』と決めた憲法9条をどうしても守り通したいと活動を続けています。どうしてこのような活動を始めたのでしょうか。

それは、『憲法9条を変えたい』と画策をしている人たちがいるからです。つい先日まで総理大臣を務めた安倍晋三氏もその一人でした。

そして、その後を引き継いだ菅首相も、安倍政治を丸ごと引き継ぐことを明言しています。私たちは、『憲法9条は今のまま大切に守り育てていきたい』と願っています。町民のみなさん！どうかお力をお貸してください」と訴えました。（平野憲一郎さん「九条の会・わかやま」411号）